広島研修

教育の広場

PEACE

十四山中学校　浅野 宏太

【平和資料館を見学して心に残った資料】

いろいろな資料をみましたが、今では想像できないようなこものばかりで言葉が出ませんでした。

その中で心に残っているものは2つあります。1つは「生きる」という資料です。何とか生き残っても、家族や友だちは亡くなってしまっていて、体だけでなく心にも癒えない傷を負ってしまったことを伝えるものでした。もう1つは「生ある限り生きつづける」という資料です。自分が築いた家族が亡くなり、妹も亡くなった時、51歳でとても悲しかったけれど、子供を始め、亡くなった家族の分まで生き、90歳で亡くなった人についての資料でした。

この2つの資料から、僕は、命は大切であり、命がある限りは一生懸命生きないといけないのだと思いました。また、「自分が病気にかかっているのに、生きていくために働き続けている」という資料からは、何としても生き続けるのだという強い思いが伝わってきました。

【しげるちゃん弁当】

戦時中の食事体験として、しげるちゃん弁当を食べました。戦時中のお弁当の中では豪華な方だということもあり、量もある程度あって、切り干し大根はおいしく感じました。満足に白米が食べられない中、当時の人は麦や豆をお米に混ぜて炊くなどして、量や栄養を増やす工夫をしていたのだと思いました。

【平和について考えたこと】

今のこの平和が途絶えないように、自分たちにできることを考えていきたいと思いました。また、戦争の恐ろしさをもっと多くの人に広めていきたいとも思いました。そうすることで、たくさんの人が亡くなったり苦しんだりするようなことがないようにしていけると思います。

未来のために

十四山中学校　吉田 有羽

【観光客を見て感じたこと】

広島には、日本人の観光客だけでなく、外国の方もいました。国内からの観光客は、大半が学校の学習活動の一環として来ているようでした。それを見て、多くの学校で戦争について学ぼう、戦争や原爆のことを後世に伝えようと努力をしているのだなと思いました。外国の観光客も日本人と同じように、真剣に展示物を見ている人ばかりでした。私は、外国の方たちは「戦争」という視点から日本のことを興味深く見ることはないのではないかという、あまりよくない印象をもっていました。しかし、外国の方たちが広島を訪れ、戦争について知ろうと熱心に資料を見ている様子を目の当たりにして、とてもうれしく感じました。このような人たちがもっともっと増えていけば、戦争が起きることもなくなるのだと思います。

【広島に行って考えたこと】

広島に行って、私が知っていたことはごく一部でしかなかったのだなと思いました。事前学習や「ピースあいち」で学んだことだけで、戦争のすべてを知ったような気になっていました。特に戦争について知ることができた場所は、やはり平和記念資料館だと思います。たくさんの絵や写真、展示物から、戦争の醜さ、亡くなった方たちの無念さがとても伝わってきたからです。

平和のために私が今できることは、戦争のことを次の世代に伝えていくことだと思います。現在、戦争を体験した人たちはご高齢の方ばかりです。これからは、戦争についてたくさん学んできた私たちが伝えていかなければならないと思います。これからも、広島に行って学んだことを忘れずに、平和な未来に向けて努力をしていきたいと思います。

※こちらに掲載している情報は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止または延期となる場合があります。

2021 2 くらしの情報

「お知らせ」「募集」など暮らしに役立つ情報を掲載しています。

お知らせします

ファミリー・サポート・センター利用会員入会説明会

ファミリー・サポート・センターは「キッズケアルームえがお」において病児・病後児保育を行うほか、保育施設の送迎や預かり支援など、健康な時も病気の時も利用会員と協力会員が助け合う組織です。

▼と　き　3月14日（日）
午前9時30分～、午前10時～、午前10時45分～（3部制）
▼定　員　各5組
▼ところ　総合社会教育センター2階 会議室・研修室
▼持ち物　印鑑、筆記用具、母子手帳
※既に利用会員の方でも、病児・病後児保育を希望される方は手続きが必要です。
※会場で会員証用の写真を撮影します。
※予約が必要です。説明会は1時間程かかります。
申・問ファミリー・サポート・センター
☎52－0922

民生委員・児童委員が代わりました

民生委員・児童委員が次のとおり代わりましたので、お知らせします。

▼学　区　桜
▼職　民生委員・児童委員
▼新任委員　大﨑　真理
（令和3年1月1日付け）
▼前任委員　山口　初子
問【民生委員に関すること】
市役所福祉課（内線164、165）
【児童委員に関すること】
市役所児童課（内線154）

国民健康保険傷病手当金（新型コロナ関係）について

国民健康保険の被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染した、または発熱などの症状があり感染が疑われた場合に、その療養のため労務に服することができなかった期間、傷病手当金を支給します。（個人事業主、フリーランスの方は除きます）

▼対象者（次の条件全て該当する方）
1．弥富市国民健康保険の被保険者の方
2．勤務先から給与の支払いを受けている方
3．新型コロナウイルス感染症に感染した、または発熱などの症状があり感染が疑われ、その療養のため労務に服することができなかった期間がある方
4．その就労できなかった期間について給与の全額または一部が支給されなかった方

▼支給額計算方法
（直近の継続した3か月間の給与収入の合計額 ÷ 就労日数）×2／3×日数

ただし、給与収入の全部または一部を受け取ることができる方に対しては、これを受け取る期間は傷病手当金を支給しません。

なお、その受け取ることができる給与の額が、上の方法で算定される傷病手当金の額よりも少ないときは、その差額を支給します。

▼適用期間
令和2年1月1日～令和3年3月31日の間で療養のため労務に服することができない期間

ただし、入院が継続する場合は健康保険と同様最長1年6か月まで

▼申請方法
支給には申請が必要です。市役所保険年金課にお問い合わせください。
問市役所保険年金課（内線122、123）

海部歴史研究会講演会

▼と　き　3月13日（土）
午後2時～4時（1時30分開場）
▼ところ　蟹江町産業文化会館（蟹江中央公民館分館）（蟹江町城一丁目214番地）
▼内　容
「海部歴史研究会30年をむかえて～郷土研究の諸相～」
・フロアA「地域史の再検討」
大坪恵里佳（弥富市歴史民俗資料館　学芸員）
「長島一向一揆に関する通説の再検討―海部地域を中心として―」
石田泰弘（愛西市佐織公民館　館長）
「海部から歴史を読み直す」
・フロアB　「地理環境と地域の文化」
森川紀子（大治町立公民館　学芸員）
「尾張西部の河川の流れと文化の道」
大野麻子（蟹江町歴史民俗資料館主任学芸員）
「海部地域の子供ザイレン」
▼主　催　蟹江町教育委員会・海部歴史研究会
▼定　員　合計100名（事前申込制）
▼申込方法
参加を希望するフロアを選択して、2月19日（金）までに蟹江町歴史民俗資料館窓口へ申し込みください。（希望者多数の場合は抽選を行います）
問蟹江町歴史民俗資料館（月曜休館）
☎95－3812

十四山スポーツセンタートレーニング講習会2月の予定

トレーニング室をご利用いただくには、初回に無料のトレーニング講習会（器具説明など）を受講していただく必要があります。なお、小学生以下のご利用はできません。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講習会およびトレーニング室のご利用は、当面の間、市内在住の方のみとさせていただきます。

また、各種制限や注意事項がありますので、ご利用する際は、必ず「感染症対策特設サイト」にてご確認いただくか、直接お問い合わせください。

▼料金　大人250円・中学生120円
①10:00～ ②14:30～ ③18:30～